

【公演】

No.	団体名	公演内容	人数	公演日		団体PR
				平日	土日	
邦楽	1 大分県三曲協会	①箏・三絃・尺八による邦楽演奏 ②これらの楽器のワークショップ	2~8	○	○	昭和28年設立。大分県内の箏・尺八の職格者(師範)で構成。現在会員数202名。昭和34年から毎年定期演奏会を開催し県民芸術文化祭にも毎年参加。昭和50年大分県芸術祭、平成7年に大分県民芸術文化祭の開幕行事、平成2年、及び22年には閉幕行事を担当した。近年では学校での公演に力を入れており、学校における邦楽教育の一助として側面的協力をすべく、邦楽指導について協力するなどしている。
	2 長唄さくら会	日本の伝統芸能である長唄・三味線の演奏。(公演の内容によっては囃子の参加もあり)曲の解説、三味線に直接触れるコーナーなども同時に行う。	10~15	要相談	○	大分県長唄連盟に柱屋六絹也他門下生15名が所属するからわら平成10年4月1日「さくら会」として別個に設立。歌舞伎とともに育った長唄・三味線の本の伝統芸能としての特に若年層に対する普及活動を行っている。
	3 長唄 松樹會	対象は、保育園・幼稚園・小中高等学校・一般の方々・高齢者施設など。要望に応じて公演人数や内容に変化をつける事が可能。古典の長唄(唄と三味線)や近代邦楽、童謡やポップスなど幅広い。長唄(唄と三味線)の体験学習やワークショップ、洋楽器とのコラボも出来る。	2~20	○	○	1946年(昭和21)年4月に発足。会主の芳村孝次女(松永派理事)は、祖母杵家弥椒と父三世松永忠三郎と三代に渡り大分の長唄(唄と三味線)の普及に努める。現在は、東京と大分を拠点に活動する。東京都と社団法人長唄協会が、芸術文化を通じ子供達の育成のために推進する『キッズ伝統芸能体験』の講師も勤める。それらの長年の経験も生かし、長唄松樹會としても、多方面で演奏活動をしている。
オペラ・声楽	4 大分二期会	教科書の鑑賞題材によるオペラ(「魔笛」他)のアリアや重唱をピアノ伴奏で演奏するコンサート。教科書の「日本のうた」「季節のうた」「自然のうた」などを取り入れ、児童・生徒にも親しみやすい鑑賞会。学校で取り組んでいる合唱曲を混声重唱により模範演奏し、交流演奏も行う。	4~5	○	○	平成8年設立の大分オペラアンサンブルより平成22年12月名称変更移行。これまで「椿姫」「リゴレット」「蝶々夫人」「カルメン」「夕鶴」「愛の妙薬」などのハイライトコンサートやオペラ「カルメン」公演を開催。平成20年には日本の芸術歌曲公演、平成21年にはオペラケストラによるオペラガラコンサートなどを開催。
	5 アンサンブル「みどりのそよ風」	多くの(特に若い世代の人にも)に、童謡に頼んでもらうための童謡コンサート。季節の歌、わらべうた、懐かしい童謡、新しい童謡など。を聴いてもらったり、一緒に歌ってもらうことも可能。	3~6	○	○	1997年、4名でスタート。県内各地の病院、施設、公民館またはイベントで童謡コンサートを実施しています。歌唱(ソロ・重唱)、ピアノ(ソロ・連弾)
	6 おおいいたオペラカンパニー	オペラ(ハイライトも含む)公演やオペラコンサート(アリア・重唱等)	10	○	○	2009年の春設立。これまで 毎年定期公演、数多くの地方公演(学校での公演を含む)を実施している。童謡・唱歌の演奏も行う。
合唱	7 特定非営利活動法人 おおいいた第九を歌う会	1 合唱を中心とする音楽の普及振興事業： ベートーヴェン交響曲第九番を中心とした合唱講習会の開催 2 子ども達の音楽に関する育み事業： 小学校及び中学校等訪問演奏会の開催	8	要相談	○	大分の年末の風物詩となった「大分第九のタベ」演奏会を開催している「大分第九を歌う会」が、平成28年12月の第40回公演を機に、平成29年4月に「特定非営利活動法人おおいいた第九を歌う会」として、新しい生まれ変わらせた。 年末恒例の演奏会に加え、合唱講習会や訪問演奏会等、芸術、文化の振興に関する事業を行い、音楽の普及を図りながら、芸術・文化の香り高い慣いのあるまちづくりの推進と、音楽を通しての地域文化の振興に寄与する活動を行う。
	8 大分市民合唱団 ウイステリア・コール	合唱の演奏 * 公演時期は10月を希望する。	40	×	○	1950結成。大分県内外から合唱好きが集まり練習している。共通点は「歌が好き!」いろいろな人がいる元気な合唱団。
	9 合唱団「藍」	学校巡回公演や音楽演奏会(コーラス・ピアノ・ボーディーパーカッション)を行う。	20	○	×	平成元年3月に女声コーラスグループとして発足。「藍」コンサート活動を中心に、お母さんコーラスフェスティバル、合唱祭に毎年参加。音楽療法ボランティアとしても活動中。
10 大分大学混声合唱団 コールレティツ	合唱・オペレッタ(寸劇)。子どもと一緒に体を動かしたり、歌ったりしながらの演奏会。	30~40	×	○	昭和35年結成。現在会員は約50名。年1回の定期演奏会を開催するほか、長年地方演奏旅行として、県内の小学校等で公演を行ってきた。	

No.	団体名	公演内容	人数	公演日		団体PR
				平日	土日祝	
11	大分マンドリンオーケストラ	マンドリン演奏	25	○	○	昭和28年に創立し、現在社会人を中心としたメンバー約40名により活動しています。毎週水曜日19時30分から大分市南部公民館を主に練習しています。主な活動としては、「OMOギターマンドリンフェスタ」「九州マンドリンフェスティバル」「大分県マンドリンフェスティバル」「文化キャラバン」「定期演奏会」等を実施しています。
12	室内楽おおいた〜grand〜	①弦楽合奏(トリオ、カルテット、小編成の合奏) ②歌・ピアノ・木管等の入った合奏 ③ソロ(独奏)による演奏。	10~18	○	○	団員全員が音楽を専門として勉強してきたこともあり、演奏には自信があり。
13	カサ・デ・ギターラ	クラシックギターの独奏と合奏。生徒たちとの(歌、リコーダーなど)合奏、合奏。ギターについての質問コーナーなど。*公演日の希望は、第1希望火曜日、第2希望木曜日。	4~5	○	要相談	昭和55年設立。大分市を中心に62名で組織。堀内輝生ギターリサイタル、大分市民音楽会への参加のほか、学校公民館など大分県内を中心に活発に活動している。*特に山村、離島などの小規模校での演奏を希望する。
14	別府溝部学園短期大学 ハンドベルリンガーズ	ハンドベル演奏・ハンドベルのお話・ワークショップ プ・・・ハンドチャイム・指揮・歌etc	13	要相談	○	平成5年設立。九州ハンドベルフェスティバル、定期コンサート、県・市の行事やイベントなど学園内外で活動し、創部以来約400回のステージを経験してきた。また、テレビやラジオ出演などをとおして、多くの方々に「天使のハーモニー」を届けている。
15	ピアノ演奏グループ「O'未来」	ピアノのソロ演奏、連弾演奏によるコンサート。簡単なコメントをさみながら、子どもたちにも聴きやすいクラシックの名曲(3~4分程度)をはじめ、アニメソングやその年に流行した曲なども取り入れたプログラム。全校生徒で行うクイズコーナーやリズム遊びコーナーもあり、音楽を幅広く楽しんでもらう。	5~8	○	○	北九州小倉に本部を置き、会長である平岩祥子氏の門下生を会員とした団体。本部は1976年発足、大分県支部は1986年の第1回定期演奏会と同時に始動。これまで30回の定期演奏会を続けている。その他、子どもたちを交えたピアノコンクールコンサート、サロンのミニコンサートである「おしやれコンサート」等、演奏活動を行っている。
16	GEN室内管弦楽団を招く会	現職の大学高校の教員がクラシック音楽の演奏を行う。ピアノ独奏連弾、フルート、クラリネット、ヴァイオリン、チェロ、声楽の独唱や独奏。	7~8	○	○	東京のGEN(ゲン)室内管弦楽団大分演奏会を開催したのをきっかけに、現職の大分県内大学・高校教員で文化キャラバンに協力している。
17	グループJUNO	クラシック音楽や身近な音楽の演奏。声楽の独唱、重唱、楽器(ピアノ・フルート・サクソフォン・クラリネット・マリンバ)による独奏、アンサンブルによる演奏会。	10~15	○	○	結成45年のクラシック演奏団体。県内に在住し活動している団員により、クラシック音楽の普及と文化キャラバン、施設訪問等で、地域に根ざした活動をしている。
18	Oita Musik Akademie	演奏形態は、声楽とピアノ、器楽のみ、声楽と器楽、と多様。地域の人々に馴染みのある曲でコミュニケーションを図る時間を設ける一方、演奏家の専門であるクラシック音楽にもしっかり触れる演奏会を開催。	5~6	×	○	大分に所縁のあるクラシック音楽の若い演奏家同士の親睦とクラシック音楽の普及発展への寄与、地域の音楽文化の発展向上への貢献を目的とする。あらゆる演奏形態に適応できるよう声楽から器楽まで多様な演奏家が所属している。
19	ルミエールフルートアンサンブル	様々な編成によるフルートアンサンブルのコンサート。フルートだけでなく、ピッコロ、アルトフルート、バスフルートなどフルート属の楽器の紹介もする。	4~10	○	○	県下で活動しているフルーティストを中心に2008年に結成。小編成の曲から特殊楽器を使った規模の大きなアンサンブルの曲まで幅広いレパートリーのフルートアンサンブルに取り組む。
20	洗足学園音楽大学同窓会 大分県支部	クラシック音楽やポピュラー音楽等、親しみのある曲を演奏。ピアノ・フルート・クラリネット・ヴァイオリン・声楽等のソロやアンサンブル	4~10	○	○	音楽大学にて専門の勉強をし、現在は県内外で演奏活動を行っている。
21	管楽器ブレイヤーズ大分	フルート・オボエ・クラリネット・トロンボーン・テューバの管楽器で構成されており、自在な組合わせでアンサンブルの演奏を提供する。	2~7	○	○	2013年4月、吹奏楽やオケケストラにおける管楽器奏者の普及、演奏技術の向上、音楽文化の振興に貢献することを目的として設立された団体。

器楽演奏等

No.	団体名	公演内容	人数	公演日		団体PR
				平日	土日祝	
吹奏楽	22 大分県庁職員吹奏楽団	小中学校訪問演奏会など。クラシックや吹奏楽オリジナル曲を紹介すると共に、歌や打楽器演奏で児童・生徒が参加出来る演奏会を企画している。また、楽器に触れ、演奏にチャレンジしてもらったり聴くだけでなく、楽器に親しむ演奏会を開催している。近年では「不思議の国のアリス」、トム・ソーヤの冒険」などでお話(読み聞かせ)と音楽、さらに子どもたち制作の物語絵による映像を組合わせるなど、総合学習の視点での取り組みも行っており、各地で好評をいただいている。	15~35	×	○	昭和24年、大分県庁職員有志により結成。年1回の定期演奏会、学校訪問演奏会、老人・児童福祉施設・病院での慰問演奏会その他、各種イベント等で活動している。【楽団ブログ】 http://blog.livedoor.jp/oita_pref_wind/
	23 吹奏楽団アンサンブルOITA	日本、外国の親しみのある曲を演奏。楽器紹介(楽器の仕組みをわかりやすく紹介)、指揮の体験など(音楽の中でリズムを感じてもらおう)をプログラムに組み込む。	15~30	×	○	平成9年に設立された大分市の市民吹奏楽団。大分県内で吹奏楽の音楽愛好家が集まり、広く市民に愛される楽団として「心に残る音楽作りを創り続けよう」を合言葉に活動している。
	24 MID'S JAZZ ORCHESTRA (ミッツ・ジャズ・オーケストラ)	ビッグバンドの形式をとっている。ジャズは勿論、映画音楽、歌謡曲、アニメソングなど、ケースバイケースのメニューで演奏できる。	17~20	×	○	例年、各種パーティー、ダンスパーティー、病院や刑務所の慰問、学校行事参加等々、年間20件以上の演奏会を行っている。
	25 スウィング・エコーズ・ ジャズオーケストラ	アメリカから始まったジャズの歴史の中で、最も迫力のあるオーケストラ形式の演奏スタイル。希望によって、ジャズのスタンダードナンバーから映画音楽やテイニーの音楽、演歌などを演奏。(レパートリーは約500曲)。公演の中では、楽器紹介や、カラオケ演奏、地元ダンス教室とのコラボレーションなど、魅力あるステージに努めている。	17	×	○	昭和42年に大分市、別府市のジャズ愛好家によって結成されたジャズオーケストラ。毎年1回、国内のトップアーティストを迎えて定期演奏会を開催しており、これまでに、サックスの渡辺貞夫氏やマルタ氏、ジャズボーカルのマリオン等と共演、2度の大分県民芸術文化祭賞を受賞している。2009年の大分県体では種好敏子さんと共演した。
	26 おおいた洋舞連盟	クラシックバレエ、モダンダンス、フラメンコ、ジャズダンスなど、洋舞踊の作品鑑賞やおはなし、ワークショップ。	5~10	×	○	県内の洋舞踊の指導者が構成する団体。平成18年の大分県民芸術文化祭開幕行事では、ポリンヨイバレエのソリストを迎え、「ラ・バヤデー」全幕公演を行った。平成20年の大分市民洋舞踊フェスティバルでは10周年を記念して「くみ割り人形」を公演した。また、平成27年第17回大分県民芸術文化祭閉幕行事「バレエ ドン・キホーテ」全3幕を首藤康之氏構成・振付・演出で公演し、好評を得た。
27 大分県民踊連盟	・民踊とは～解説・民踊を踊ってみせる・民踊を一緒に踊る	15~20	○	×	県下の民踊団体40団体で構成。県、市の教育委員会等の事業への協力し、民踊を子どもたちにも親しみやすく紹介。	
演劇	28 大分県人形劇サークル協議会	1公演あたり人形劇2~3本を45分~60分前後程度の時間で上演する。童話・民話・昔話などを「人形」を使って子ども達と一体となった劇を上演する。 ※鑑賞者数について、200名以上の場合は、後方が見えにくい可能性があるため、せいぜい250名が限度である。	2~8	○	○	県内で46年の活動を続ける人形劇サークルの団体。子どもたちの目前で人形が生出演する劇はいつも大変好評を受けている。舞台など必要なものはほとんど持ち込むが、観客人数が100人を超す場合は、会場のマイク等をお借りする場面がある。
	29 大分県児童文化研究会	民話・昔話・新田童話等、子ども達に語り聴かせた文化内容を語り(口演童話)・紙芝居・本(絵本)の読み聴かせ・パネルシアター・人形劇等多彩な表現方法を持つベテランの講師を招聘して子ども達の前で上演する。	2~6	○	○	県内で学校等を対象にした読み聴かせサークルや、童話祭で披露してきたベテランの講師に声をかけし、子ども達に広げる活動をする団体。

No.	団体名	公演内容	人数	公演日		団体PR
				平日	土日	
30	能を楽しむ会	世界遺産にもなっている日本の古典芸能である「能楽」に触れてもらおう。内容はおはなし、鑑賞、体験学習等で構成する。	7	○	○	能楽の啓蒙、地域の文化振興のため、新聞社教室。能楽堂教室に参加している。若い世代に「日本の心」を伝える活動に積極的に取り組み、小・中・高校・芸術大に演能、講座、体験ふれあい教室を行っている。一般を対象に、土日には能楽体験教室を行っている。「大分市芸能まわり舞台」は、60年間参加している。

【講演会・講習会等】

No.	団体名	公演内容	人数	公演日		団体PR
				平日	土日	
31	大分県香傘川柳連合会	川柳の作り方、味わい方などに関する講演会	2~3	○	○	「香傘川柳本社」同人、約50名が講師を務めることができる。
32	(公社)日本フラワーデザイナー協会大分県支部	花育事業としてのフラワーアレンジ講習会。フラワーアレンジメントについてのレクチャー、実演をお見せする。なお、生徒さん自身によって制作を希望する場合には、材料費として1人500円を頂く。	10~100	○	○	1969年に文部省に認可された日本最大の公益法人。全国生涯学習フェスティバル、国民文化祭、全国都市緑化フェスティバルに参加。大分県では開閉式装花制作などを行っている。

【展示】

No.	団体名	公演内容	人数	公演日		団体PR
				平日	土日	
33	大分県美術協会	大分県美術展の作品鑑賞(作品解説)会及び巡回展の開催	希望者	○	○	昭和40年、芸術関係3協会が統合し現在の大分県美術協会が発足した。発足当初から年2回の大分県美術展を開催している。秋季県美術展巡回展の終了後、大分県立病院ギャラリーでもっと美術を！県美術展秀作展も開催している。
34	NPO法人大分県書写書道指導者連合会	20名~30名程度を対象に、講演(スライド):授業とは違う視点で楽しい内容・文房四宝の展示や使用について・漢字の出現(偏と旁、筆順の意味)・甲骨文字や金文文字の誕生、揮毫、寄せ書き等	2~3	○	○	書写、書道教育の向上発展に寄与することが目的。大分県小中学生書道チャンピオン大会開催(支援学校サポーター事業、夏休みの書道教室(県下)開催)平成28年度 文部科学大臣表彰(地域文化功労者)を受賞